

農事教室

●●一石二鳥の話●●
草地農業の前進 (2)

●●草と食糧●●

草を作物と考え上手に経営面に取り入れて使用している事が、農業の前進であり経営の合理化ではなからうか。

農地の地力を養い、或は保持し亦乳や肉類を我々の食膳に供するの、草の力と云つても過言ではない。然し乍らこの最も大切であるべき草を我々日本人は余

均十年余り延びているが、決して欠点は正された結果でなく、医療と云う人間を修繕する技術の進歩が此の結果をもたらしている。

の地位向上も望めない。この結論は、草地農業と云う言葉となつて浸透し各々地での重要性が認識されて来た。

草地農業と云う言葉が家畜と飼料草について大いに考えさせてくれる。全国で五十万頭に近い家畜が栄養の欠陥により繁殖障害、発育不良となつて居るが、その

の育成栽培に習熟し家畜を通じて動物蛋白、ビタミン或はミネラル獲得の第一歩としなければならぬ。

草地農業は前進している家畜を愛し土を愛する農民の、草への関心の大きさが草地農業開発の大きな原動力となつていく事を願っている。

りに軽視し粗末に取扱う傾向がある。元来日本人は蛋白質とかビタミン、鉄物質等を撰る量が非常に少なく、体格の貧弱さが目立つているが、これ等草を大切にせぬ所に原因しているのではなからうか。これは日本人のみでなく米食を主としているアジア民族の共通の欠点である。

最近では人間の寿命が平均十年余り延びているが、決して欠点は正された結果でなく、医療と云う人間を修繕する技術の進歩が此の結果をもたらしている。

の地位向上も望めない。この結論は、草地農業と云う言葉となつて浸透し各々地での重要性が認識されて来た。

草地農業と云う言葉が家畜と飼料草について大いに考えさせてくれる。全国で五十万頭に近い家畜が栄養の欠陥により繁殖障害、発育不良となつて居るが、その

の育成栽培に習熟し家畜を通じて動物蛋白、ビタミン或はミネラル獲得の第一歩としなければならぬ。

草地農業は前進している家畜を愛し土を愛する農民の、草への関心の大きさが草地農業開発の大きな原動力となつていく事を願っている。

戸籍のおり (8)

私達人間が社会的動物であり社会的団体生活を営む以上、名は人の同一性を識別するために極めて重要な意義をもっている。一旦出生によつて決められた名は自己の自由意思のみによつて濫りに変更を許すことは原則として認められないのであるが「正当の事由」ある場合に限り家庭裁判所の許可を得て変更することが出来ることとなつて居る。

即ち

(1) 営業上の目的から襲名する必要があること

(2) 同性同名の者があつて社会生活上甚しく支障のあること

(3) 神官若しくは僧侶となり、又は神官若しくは僧侶を止めたため、改由として認むべきが相当の名を必要のあるとき

(4) 珍奇の名、外国人に紛らわしい名、又は甚しく難解難読の文字を用いる者、その範囲内の文字に

いた名等で、社会生活上甚しく支障のあること

(5) 帰化した者で、日本風な名を改める必要のあること等

以上が正当の事由として代表的なものであるが、この外異性の名に紛らわしい名或は永年使用している通名即ち芸名、雅号、ペンネーム等については議論があり、又は神官若しくは僧侶を止めたため、改由として認むべきが相当の名を必要のあるとき

当用漢字及び人名用漢字以外の文字を使用しているに於てその判断を家庭裁判所に委ねられているわけである

の主食となつて居る草に對し何等の手入も行わない状態であり、我々人間の二倍も三倍もの体を支えていくには誠に不行届で、病気に罹り発育不良となるのも亦当然の事ではなからうか。

家畜を飼う農家は草の重要性を認識し作物としての草の育成栽培に習熟し家畜を通じて動物蛋白、ビタミン或はミネラル獲得の第一歩としなければならぬ。

草地農業は前進している家畜を愛し土を愛する農民の、草への関心の大きさが草地農業開発の大きな原動力となつていく事を願っている。

田の草取りが楽になつたが、何んとかして麦草を取る力が省けないだろうか。如くうした要望に應ずるべく低温期にも使用出来る強力な除草剤、クロロピC、D、P、C、M、U等が登場した。こうして農民の夢であつた除草の労力が大幅に減る事となり今後の農業経営面にも明るい希望を投げかけている。

ではその新除草剤はどのような性質と効力があるか簡単に説明します。

二四D類の除草剤は、通称「いつ葉草」とか「かにの目」などの雑草には効果的だが「ヒユ」等の禾本科の雑草には効力がなかつた。然し禾本科植物に非常に有効である所から、水田の麦の除草剤として非常に有望である。所が麦は矢張り禾本科の植物であるから、使用に當つては充分に注意して戴きたい。折角除草が出て来ても一緒に麦も枯らしてしまうつてはなにも枯らぬから使用は次の要領で行われる様お奨めする。

麦を播種してから三日以内に、田或は畑全面に撒布する(撒布量は大体一〇〇〇瓦を基準として六〇八〇〇瓦を基として攪拌す)器具は噴霧機を使用して均一に撒く。この際の麦の覆土は一寸位にして下さい。覆土を受ける様注意して下さい。

新しい 除草剤

農業経営から除草の労力が省けたら、と云う事は多年にわたる農民の願であつたが、化学の進歩は次第にその夢を實現させ、水中二四D、二四D、M、C、P、T、C、P、I、M、P等々と除草剤が我々の前に現れて来たが、これ等の農業は温度に左右されて高温を必要とし夏季の間のみしか使用出来得なかつた。人間の欲望には限りが無い。暑い時期

田の草取りが楽になつたが、何んとかして麦草を取る力が省けないだろうか。如くうした要望に應ずるべく低温期にも使用出来る強力な除草剤、クロロピC、D、P、C、M、U等が登場した。こうして農民の夢であつた除草の労力が大幅に減る事となり今後の農業経営面にも明るい希望を投げかけている。

ではその新除草剤はどのような性質と効力があるか簡単に説明します。

二四D類の除草剤は、通称「いつ葉草」とか「かにの目」などの雑草には効果的だが「ヒユ」等の禾本科の雑草には効力がなかつた。然し禾本科植物に非常に有効である所から、水田の麦の除草剤として非常に有望である。所が麦は矢張り禾本科の植物であるから、使用に當つては充分に注意して戴きたい。折角除草が出て来ても一緒に麦も枯らしてしまうつてはなにも枯らぬから使用は次の要領で行われる様お奨めする。

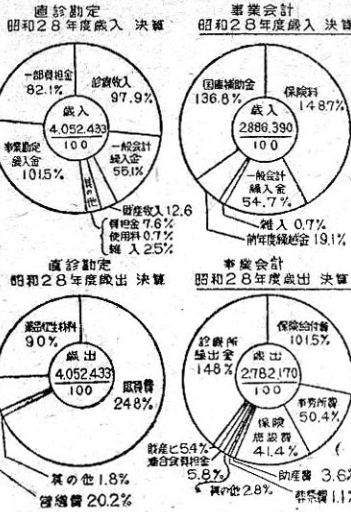
麦を播種してから三日以内に、田或は畑全面に撒布する(撒布量は大体一〇〇〇瓦を基準として六〇八〇〇瓦を基として攪拌す)器具は噴霧機を使用して均一に撒く。この際の麦の覆土は一寸位にして下さい。覆土を受ける様注意して下さい。

CMUは最近現れた除草剤で水に殆んど溶けず、土に撒布すると作物の根から吸収されて除草効果を見出す撒布量は反当五〇〇瓦前後以上最近市販になつた除草剤について簡単に説明しましたが、除草の労力が省けるからと云つて無暗に使用しない様、特にその使用に當つては農協指導部の指導を受ける様注意して下さい。

一件当り医療費比較表

年度	28年度		29年度		30年度	
	件数	一件当額	件数	一件当額	件数	一件当額
受診率	141.2%		137.9%		138.0%	
一点単価	11円50銭		11円50銭		11円50銭	
区分	件数	一件当額	件数	一件当額	件数	一件当額
入院	177	4,983	211	4,828	158	6,518
入院外	5,647	416	5,225	445	5,215	493
歯科	615	308	872	404	817	435
療養費	47	2,443	57	3,788	65	3,946
助産費	(93)	(27,900)	(83)	(24,900)	(76)	(22,800)
葬祭費	(31)	9,300	(43)	(12,900)	(32)	(9,600)
合計	6,486	545	6,365	615	6,255	674

国保の推移 (2)



農村は、迷信の貯水地であるように思われているが、実際に農村の生活には迷信が多い。

ところで、二三步あるけばすぐぶつかる迷信も、われはみんな本心から信じているかと言ふと、そう簡単には云いきれない。

信ずるが如く、信ぜざるが如く、その間をぬらりくらりとさなげのように抜けてゆくだけの手際をもつては、至極変きよう者としてわれわれの間に利用され、喜々としてたむわ



-7-

信仰で癒ると云われ、自分もその気になつて〇〇様にお参りしているが、同時に一方では医者に診てもらふと云う人が大部分である。そして癒れば、〇〇様のおかげで癒つたとすましておかげで癒つたとすまして〇〇様を信神するに、これで必ず癒るといふ確信を持つ人も少ないようである。医者にかゝるより安あがりだからであるが、よくしたもので、そんなことではぶらぶらしているうちに自分の体力で癒つてくれる。それは信じているからと云うことではない。その証拠には一刻を争う疫病や赤痢の場合、医者へ駆けつけな

取りこわしたとき。一、所有者が変つたとき。二、その他家屋について異動があつたとき。この申告を怠ると家屋台帳法の規定によつて過料に処せられることがありますから注意しましょう。

年内に返納を！

図書館からの御願い！！

みなさんの本箱や書棚の中に、置き忘られた公民館

婚約についての迷信も多い。年廻りがどうの、相性がどうの、方角が悪いとか云うと甚だ？で、むしろこれを逆に人間がうまく利用している形である。

縁談をこつとわる口実として相手方に傷つけぬことわり方としてこの迷信を持ち出す。若し他の条件に申し分がないとしたら、折角の良縁をこんな迷信で逃してしまふ馬鹿はない。そこはなんとかなりまく理くつをつけりまくやつている。

農村に山ほどある迷信は、このように、大部分は今日すでに愛すべき土俗神話であつたり、悲しい、あるいは愛すべき、おどけた生活のあそびであり、歌となつている感が深い。

この三月の広報第一号が発刊されてより、今日までどうやら続けておられますもの、毎号ペンをとるとき、どうも今月は……と思ひ通りにいかない月のペンは重くなりがちです。

この広報の限られた性格限られたスペースの中へあれも、これもと思ひは、一ぱいであるが、いざ作ろうとなると、仲々うまくいかない。足らない頭と足らない時間がうらめしい。

来年こそは……鬼よ笑うな……皆さんのよきお智恵を拜借し、々広報をもつと、充実したものに育てたいと思ひますから、どうぞより一層の御支援と御協力をお願いいたします。

新しい年をお元気で迎へ下さい。(編集子)

まだある無登録家屋

家屋の新築や増築などをした場合、家屋台帳に登録の申告をしなければならぬことは、さきに広報第六号でお知らせしたとおりですが、まだまだ無登録の家屋がたくさんありますので次のような人は、

一、家屋を移築または再築したとき。

一、板葺を瓦葺にするなどその構造を変えたとき。

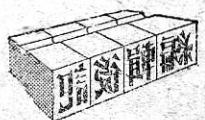
一、家屋の全部または一部

の図書が入つてはいませんか。……

年末ともなり、長期間貸出しのまゝ返らない本が相当ありますが、たとえ一冊でも、より多くの人に読んでもらえるために、一人で独占してはいないで、早く返納するよう心がけて下さい。

今一度、自分の本箱や書棚を整理し、本月二十八日まで返納して下さい。

そして正月には新しい気持ちで、新しい本を読みましょう。



△年の瀬も近づき、なにかとせかれり日々となり